

民間競争入札実施事業

H27-30 国営沖縄記念公園運営維持管理業務の実施状況報告

基本方針に基づく標記事業の実施状況は以下のとおり。

I 事業概要等

事項	内容
委託業務内容	国営沖縄記念公園（沖縄県国頭郡本部町・那覇市）における 運営維持管理業務 <input type="checkbox"/> 公園運営維持管理業務 ①本業務全体の計画立案及びマネジメント業務 ②企画運営管理業務 ③施設・設備維持管理業務 ④植物管理業務 ⑤動物管理業務 <input type="checkbox"/> 収益施設等管理運営業務
業務委託期間	平成27年4月1日から平成31年1月31日までの 3年10ヶ月間
受託事業者 (入札参加者数等)	一般財団法人 沖縄美ら島財団 入札参加者： 1者
契約金額	5,319,777,600 円（税込）
特記事項 (改善指示・法令違反行為 等の有無)	本業務において、業務に係る法令違反行為はなかった。また、著しい業務の質の低下など、業務の適正かつ確実な実施を確保するために、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第26条における報告の徴収等及び同法第27条における指示等が必要な状況はなかった。

II 評価

1. 事業の質に関する評価

本業務においては、「H27-30 国営沖縄記念公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）により、サービスの質として、「包括的な質」と「個別業務の質」を設定しているところである。

このサービスの質について達成状況を確認するため、実施要項に記載された方法により実施したモニタリング調査の結果等について報告する。

(1) 包括的な質

1) 公園利用者数の確保

①公園の利用者数

ア 達成すべき質：年間 5,971,325 人以上

第1 四半期 1,266,804 人以上、第2 四半期 1,580,378 人以上

第3 四半期 1,530,238 人以上、第4 四半期 1,593,816 人以上

イ 結果

- 平成27年度の利用者は年間 7,280,784 人となり、達成すべき質は確保された。

また、その内訳は、第1 四半期 1,689,494 人、第2 四半期 1,951,940 人、第3 四半期 1,826,656 人、第4 四半期 1,812,694 人となっており、第1 四半期から第4 四半期の全てで達成すべき質が確保された。

- 平成28年度の利用者は 7,616,715 人となり、達成すべき質は確保された。

また、その内訳は、第1 四半期 1,799,223 人、第2 四半期 2,074,459 人、第3 四半期 1,846,179 人、第4 四半期 1,896,854 人となっており、第1 四半期から第4 四半期の全てで達成すべき質が確保された。

表1 公園利用者数の確保

達成すべき質	平成27年度実績	平成28年度実績
年間 5,971,325 人以上	7,280,784 人	7,616,715 人
第1 四半期 1,266,804 人以上	1,689,494 人	1,799,223 人
第2 四半期 1,580,378 人以上	1,951,940 人	2,074,459 人
第3 四半期 1,530,238 人以上	1,826,656 人	1,846,179 人
第4 四半期 1,593,816 人以上	1,812,694 人	1,896,854 人

②海洋文化館の利用者数

ア 達成すべき質

- 海洋文化館の利用者数：年間 65,977 以上

第1 四半期 10,694 人以上、第2 四半期 24,704 人以上

第3 四半期 15,000 人以上、第4 四半期 15,579 人以上

イ 結果

- 平成27年度の利用者は年間117,008人となり、達成すべき質は確保された。

また、その内訳は、第1四半期39,536人、第2四半期37,417人、第3四半期19,815人、第4四半期20,240人となっており、第1四半期から第4四半期の全てで達成すべき質が確保された。

- 平成28年度の利用者は112,076人となり、達成すべき質は確保された。

また、その内訳は、第1四半期30,228人、第2四半期31,617人、第3四半期25,204人、第4四半期25,027人となっており、第1四半期から第4四半期の全てで達成すべき質が確保された。

表2 海洋文化館利用者数

達成すべき質	平成27年度実績	平成28年度実績
年間65,977人以上	117,008人	112,076人
第1四半期10,694人以上	39,536人	30,228人
第2四半期24,704人以上	37,417人	31,617人
第3四半期15,000人以上	19,815人	25,204人
第4四半期15,579人以上	20,240人	25,027人

③ 熱帯ドリームセンターの利用者数

ア 達成すべき質

- 熱帯ドリームセンターの利用者数：年間 93,014人以上

第1四半期 16,812人以上 第2四半期 14,026人以上

第3四半期 15,891人以上 第4四半期 46,286人以上

イ 結果

- 平成27年度の利用者は年間143,231人となり、達成すべき質は確保された。

また、その内訳は、第1四半期35,668人、第2四半期22,841人、第3四半期19,365人、第4四半期65,357人となっており、第1四半期から第4四半期の全てで達成すべき質が確保された。

- 平成28年度の利用者は134,627人となり、達成すべき質は確保された。

また、その内訳は、第1四半期28,399人、第2四半期26,066人、第3四半期19,468人、第4四半期60,694人となっており、第1四半期から第4四半期の全てで達成すべき質が確保された。

表3 熱帯ドリームセンター利用者数

達成すべき質	平成27年度実績	平成28年度実績
年間 93,014人以上	143,231人	134,627人
第1四半期 16,812人以上	35,668人	28,399人
第2四半期 14,026人以上	22,841人	26,066人
第3四半期 15,891人以上	19,365人	19,468人
第4四半期 46,286人以上	65,357人	60,694人

2) 利用者満足度の確保

①公園の運営に関する「満足」の回答比率

ア 達成すべき質

- ・利用者の「満足」の回答比率：年間 65.8%以上
 第1四半期 66.2% 第2四半期 65.9%
 第3四半期 65.4% 第4四半期 65.8%

イ 結果

- ・平成27年度は、「満足」の回答比率が年間で 74.5%となり、達成すべき質は確保された。
 また、その内訳は、第1四半期 72.0%、第2四半期 78.2%、第3四半期 74.6%、第4四半期 72.9%となっており、第1四半期から第4四半期の全てで達成すべき質が確保された。
- ・平成28年度は、「満足」の回答比率が年間で 77.0%となり、達成すべき質は確保された。
 また、その内訳は、第1四半期 75.4%、第2四半期 80.6%、第3四半期 75.1%、第4四半期 77.2%となっており、第1四半期から第4四半期の全てで達成すべき質が確保された。

表4 公園の運営に関する利用者の「満足」の回答比率

達成すべき質	平成27年度実績	平成28年度実績
年間 65.8%以上	74.5%	77.0%
第1四半期 66.2%以上	72.0%	75.4%
第2四半期 65.9%以上	78.2%	80.6%
第3四半期 65.4%以上	74.6%	75.1%
第4四半期 65.8%以上	72.9%	77.2%

3) 公園特性を生かした植物管理

ア 達成すべき質

- ・海洋博覧会地区における「季節を彩る花の演出、手入れの良さ」に関する「満足」の回答比率：四半期平均 71.8%以上

イ 結果

- ・平成27年度は、「満足」の回答比率が年間で 75.1%となり、達成すべき質は確保された。
また、その内訳は、第1四半期 74.9%、第2四半期 76.0%、第3四半期 77.6%、第4四半期 71.9%となっており、第1四半期から第4四半期の全てで達成すべき質が確保された。
- ・平成28年度は、「満足」の回答比率が年間で 78.6%となり、達成すべき質は確保された。
また、その内訳は、第1四半期 77.5%、第2四半期 78.6%、第3四半期 74.5%、第4四半期 83.7%となっており、第1四半期から第4四半期の全てで達成すべき質が確保された。

表5 公園の特性を生かした植物管理

達成すべき質	平成27年度実績	平成28年度実績
年間 71.8%以上	75.1%	78.6%
第1四半期 71.8%以上	74.9%	77.5%
第2四半期 71.8%以上	76.0%	78.6%
第3四半期 71.8%以上	77.6%	74.5%
第4四半期 71.8%以上	71.9%	83.7%

4) 多様な利用プログラムの提供

①「自然・環境」をテーマとした参加・体験型プログラム

ア 達成すべき質

- ・開催日数、延べ参加人数：年間 539 日以上、13,987 人以上。

イ 結果

- ・平成27年度は年間 864 日・31,014 人となり、達成すべき質は確保された。
- ・平成28年度は年間 723 日・30,933 人となり、達成すべき質は確保された。

表6 「自然・環境」をテーマとした参加・体験型プログラム

達成すべき質	平成27年度実績	平成28年度実績
年間： 539日以上 13,987人以上	864日 31,014人	723日 30,933人

②「歴史・文化（沖縄の歴史・文化及び海洋文化）」をテーマとした参加・体験型プログラム

ア 達成すべき質

- ・開催日数、延べ参加人数：年間11日、4,531人以上

イ 結果

- ・平成27年度は年間175日・14,802人となり、達成すべき質は確保された。
- ・平成28年度は年間165日・9,233人となり、達成すべき質は確保された。

表7「歴史・文化（沖縄の歴史・文化及び海洋文化）」をテーマとした参加・体験型プログラム

達成すべき質	平成27年度実績	平成28年度実績
年間： 11日以上 4,531人以上	175日 14,802人	165日 9,233人

5) 情報受発信の充実

①マスコミによる報道件数

ア 達成すべき質

- ・マスコミによる報道件数 海洋博覧会地区：年間253件以上
首里城地区：年間102件以上

イ 結果

- ・平成27年度は海洋博覧会地区については年間332件、首里城地区については年間194件となり、達成すべき質は確保された。
- ・平成28年度は海洋博覧会地区については年間530件、首里城地区については年間171件となり、達成すべき質は確保された。

表8 マスコミによる報道件数

達成すべき質	平成27年度実績	平成28年度実績
【海洋博覧会地区】253件以上	332件	530件
【首里城地区】102件以上	194件	171件

② ホームページの総アクセス件数

ア 達成すべき質

- ・ホームページの総アクセス件数：海洋博覧会地区：年間 6,689,488 件以上
首里城地区：年間 3,215,584 件以上

イ 結果

- ・平成 27 年度は海洋博覧会地区については年間 7,775,938 件、首里城地区については年間 3,502,420 件となり、達成すべき質は確保された。
- ・平成 28 年度は海洋博覧会地区については年間 9,539,641 件、首里城地区については年間 3,428,089 件となり、達成すべき質は確保された。

表 9 ホームページの総アクセス件数

達成すべき質	平成 27 年度実績	平成 28 年度実績
【海洋博覧会地区】 6,689,488 件以上	7,775,938 件	9,539,641 件
【首里城地区】 3,215,584 件以上	3,502,420 件	3,428,089 件

(2) 個別業務の質

ア 達成すべき質

以下に示す個別業務の質を確保すること。

① 本業務全体の計画立案及びマネジメント業務

多岐にわたる業務について適切な目標を定め、総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、実施の方法が決定され、さらに、これらの業務を総括し、適切な進捗管理が行われていること。

また、入館料の徴収、国庫への納入などを行うことその他本業務が円滑に行われるための諸業務を実施すること。

② 企画運営管理業務

公園利用者の満足度が高いレベルで保たれていることを目的とし、多種多様な公園利用者のニーズを適切に把握したうえで、指定された業務内容を実施し、公園利用者への適切な指導・サービス、利用促進のための行催事を行うとともに、常時適切な広報、情報発信を行い認知度を向上すること。

③施設・設備維持管理業務

1)維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等の性能が常時適切な状態で保たれているとともに、公園利用者の安全が確保されていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、建物、園路広場、遊具等の機能及び劣化の状態を調査するとともに、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置が判断・実行されていること。

2)清掃

快適な公園環境が保たれていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防すること。

④植物管理業務

本公園の意義や役割、機能を踏まえた演出を目的とし、公園全体の利用状況、景観、季節、及び生物の生育環境等に応じ、自生植物や園芸植物等の特性にあった年間管理計画を作成し、植物が常に良好な状態にあること。また、「熱帯・亜熱帯都市緑化植物園」及び「熱帯ドリームセンター」では、当該施設の設置目的等を踏まえた適切な管理が行われること。また、熱帯・亜熱帯性植物の活用と草花の演出により利用者の満足度を高めるように努めること。

⑤動物管理業務

動物の健康状態を十分に把握し、動物が常に良好な状態で飼育展示・育成・繁殖等ができること。また、飼育生物によるショーや環境学習等を行い、公園利用者が生物と親しむ学習の場として利活用されるよう努めること。

⑥収益施設等管理運営業務

公園利用者へのサービス向上を目的とし、公園管理の包括的・統一的な管理のもと、公園運営維持管理業務との連携調整を図りながら、公園利用者の利便性が高まり、安全・快適かつ清潔な環境が保たれていること。また、自主事業を行う場合は、公園の利便性や魅力をより一層高めるよう適切に行うこと。

イ 結果

個別業務の質に関する履行確認は、運営維持管理業者からの企画提案を含め、全ての事項を網羅した『履行確認書』を作成し、調査職員が項目に応じた履行確認を書面及び現地立ち会いにより実施している。

平成27年度及び平成28年度において、運営維持管理業者から調査職員に対して適切に月別作業企画書、実績書が提出され、調査職員により計画通りの履行を確認しており、個別業務の質が確保されていることを確認した。

(3) 民間事業者からの改善提案による改善実施事項

民間事業者からは、企画提案時及び業務を履行するなかで、以下のようなサービス向上のための提案が出されており、これらの提案については、毎週開催される連絡調整会議（国職員と事業者との定例の意見交換の場）等で調整を行い実施している。

①実施状況

・海洋博公園 40 周年記念イベントの開催（平成 28 年 7 月 16 日～10 月 29 日）

海洋博覧会地区において、開園 40 周年を記念して、公園の変遷を紹介するタペストリー 28 枚の掲出や、沖縄国際海洋博覧会（EXPO' 75）関連グッズ 200 点以上の展示を行い博覧会当時から現在までを振り返るとともに、海洋博公園の果たしてきた役割と成果を紹介した。また、毎年 7 月に開催される「海洋博公園花火大会」では花火の打上本数を 4,000 発増やし 14,000 発とした。その他、海洋文化館でシンポジウムの開催、イルカのオキちゃんグループショーデビュー 40 周年展示等を開催した。

・夕陽鑑賞会の開催（平成 27 年 9 月 22 日、平成 28 年 9 月 24・25 日）

海洋博覧会地区において、夕方以降の公園利用の提案、夕陽の広場の活用を図るため、「ゆうもどろの花」と称される本部町の美しい夕陽を眺めながら、さまざまなジャンルのライブ演奏を楽しめるイベントとして実施した。北部地域の飲食店が出店する「おいしいもの広場」を併設しバーベキュー等を販売した。

・北部地域と連携したイベントの実施（平成 27 年度・平成 28 年度）

海洋博覧会地区において、北部振興及び地域と協働した公園づくりの推進を目的に、地域連携イベントを実施した。北部地域の特産品を宣伝・販売する「島いろマルシェ」、本部町との連携による「ウォーキング教室」、伊江村との連携による「乗馬体験」、沖縄県立芸術大学との連携による「コンサート」等を実施した。

・冬期の花のイベント開催（平成 29 年 1 月 21 日～2 月 26 日）

一足早い春の訪れを楽しむイベントとして、海洋博覧会地区において、38 万株の草花で園内を装飾した美ら海花まつりや約 2 万点のランが展示される沖縄国際洋蘭博覧会を開催した。また、首里城地区においては園内を約 3 万株の花で彩るとともに、花にまつわる工芸品の特別展等を開催した。

・イルカプログラムの再編（平成 27 年度～）

海洋博覧会地区において、効率的なイルカショープログラムの開催と魅力向上を目的に開催時間の変更や開催回数の増加に取り組んだ。イルカショーの開催時間を 18:00 から 17:30 に変更した結果、照度不足や水面の照り返しを避けることができ、快適なショー観覧が可能になった。また、イルカ観察会の一日当たりの開催回数を 1 回から 4 回とした。

・ガンマー線による樹木点検の実施（H28.3～）

ガンマー線樹木腐朽診断器（非破壊型簡易診断器）を導入し、園内樹木の腐朽調査を実施した。目視で樹木内部の腐朽や空洞部の確認が困難な樹木を対象に選定・計測し、樹木の健全度を把握した。

② 評価

沖縄国際洋蘭博覧会や琉球の華みぐい等冬期の花イベントの開催等により、新聞やテレビにも数多く取り上げられ、利用者サービスの質の向上や入園者数の増加につながった。また、イルカプログラムの再編によって利用者サービスの質や満足度の向上につながった。

ガンマー線による樹木点検の実施等により、リスクマネジメントを強化し安全安心な公園づくりに寄与した。

2. 実施経費についての評価

比較対象である従来経費の消費税率は5%であるため、平成27年度と同じ消費税率8%とすると削減額は-16,535千円（削減率-1.2%）となる。

さらに、平成23年度から平成27年度の間に首里城北城郭(西)エリア供用等により供用面積がふえており、1ha当たりの経費を比較すると、平成23年度の18,318千円/haに対し、平成27年度は18,392千円/haとなり、経費は同程度と評価できる。

項目	金額等
従来経費（A）	1,325,000千円（平成23年度） （1,362,857千円：消費税率を8%とした場合）
契約額（B） （税込み）	3年10ヶ月：5,319,777千円 平成27年度：1,379,392千円 平成28年度：1,371,492千円 平成29年度：1,382,944千円 平成30年度：1,185,949千円
削減額（C）	<平成27年度との比較> -54,392千円 （-16,535千円：消費税率を同じ8%で比較した場合）
削減率（C/A×100）	<平成27年度との比較> -4.1% （-1.2%：消費税率を同じ8%で比較した場合）
供用面積	平成27年度：75.0ha、平成23年度：74.4ha
入園者数	平成27年度：7,281千人 平成23年度：5,582千人

※労務単価の上昇を考慮していない。

(公共工事設計労務単価の全国全職種平均値は、平成23年度から平成27年度で約28%上昇)

3. その他（特記事項に係る経緯等）

改善指示・法令違反行為はなかった。

4. 評価委員会等からの評価

沖縄総合事務局開発建設部建設コンサルタント業務審査委員会において審査いただき、「達成状況などから見て、受託者は、業務を良好に実施していると思われる。」との意見をいただきました。

5. 評価のまとめ

(1) 評価の総括

平成27年度及び平成28年度ともに、達成すべき「包括的な質」及び「個別業務の質」については、全て達成されている。

また、国職員と調整しつつ各種改善提案を行うとともに民間事業者のノウハウを活かしたサービスの提供等にも努めており、サービス水準の向上につながっていると評価できる。

特に、海洋博覧会地区においては北部地域の桜のイベントと連携、首里城地区においては、隣接する県営公園での花のイベントとの連携も図りつつ、沖縄の暖かい冬の魅力を最大限に生かした花の修景を実施したことや海洋博公園40周年イベントを実施したこと等により公園利用者数のみならず、公園利用者の運営に関する満足度や海洋博覧会地区における「季節を彩る花の演出、手入れの良さ」に関する満足度も向上しており、包括的な質を達成させた。また、マスコミによる報道件数では、マスコミとの懇談会やプレスツアー等を実施し、テレビや新聞等に数多く取り上げられたこと、ホームページに加えSNSの活用や、沖縄観光関連機関と連携したプロモーションの実施等により情報受発信を強化していることなど評価が出来る。

(2) 今後の方針

本業務において達成すべき質は全て達成されており、業務に係る法令違反や競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第27条に基づく業務改善指示が必要とされる状況はなかった。一方でより民間事業者の参入を促進し競争性を高めるよう検討を続ける必要があることから、次期業務においても、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会）」に基づき、引き続き新プロセスでの市場化テストを実施したい。

なお、次期業務の実施に当たっては、本業務の実施結果や、他公園における運営維持管

理業務の実施状況等を踏まえ、国営公園の管理の質の向上及び一層の民間事業者の参入の促進等のため、下記の改善を図る予定である。

1. 入札参加者の募集に関する改善
 - ・ 入札公告から事業開始までの期間延長
 - ・ 入札参加が期待される関係団体等へ周知するための広報
2. 配置予定者の業務実績等に関する要件の改善
 - ・ 開園期間中の業務責任者の実施体制を改善
 - ・ 企業および配置予定者の業務実績要件を緩和